

みんなの良(居)場所づくり事業

—No.63 松伏町—

【事業の目的】

地区公民館として利用されている施設を見直し、子供から高齢者まであらゆる世代が居心地が良いと思える空間「良場所」（居場所）の創出を目的としています。

【事業の内容】

平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用し、地区公民館の改修を実施し多世代交流学習館として新たな施設を整備しました。

平成30年度は、子供から高齢者まで居心地の良いと思える空間「良場所」（居場所）を創出するためにサロン事業等を展開します。

サロン事業では、カフェを設置しコーヒーやお茶、障害者支援施設で製造されたパン等を販売し、利用者に居心地の良い空間を提供します。

また、このサロンでは、コンサート事業、子供に対する読み聞かせ事業や認知症予防体操などの事業を実施することにより、人との繋がりを求める方からの相談対応や利用者同士の「縁結び」の場としても機能させます。

さらに、コーディネーターを配置し、「良場所」に集う方々を結び付ける「良場所・縁結び」を進め、地域のコミュニティ機能を高めていきます。

【事業年度】

平成29年度～

【予算額(千円)】

23,106千円（平成30年度）

【財源】

一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「あらゆる世代の交流ができる場づくり」を掲げ、あらゆる世代の交流を可能とするための場や仕組みを作ることが重要であることから、交流のためのサロンを中心とした事業の実施を検討してきました。

こうした状況の中で、地方創生拠点整備交付金を活用する事業として関係課で施設改修内容や事業展開を検討し、当該事業を立案しました。

平成29年度に拠点整備交付金を活用して施設改修を行い、平成30年度からサロンを中心とした事業を実施しています。

【事業のPRポイント】

- サロンを実施し、コーヒーやお茶、障害者支援施設で製造されたパンやクッキーを販売し、居心地の良い自由な時間を提供。
- サロン等でのサークルの発表機会の提供。
- ボランティア活動の場の提供。
- 人と人をつなげる支援を行うコーディネーター配置。

【事業実績・成果・今後の展開】

<平成29年度>

改修工事を実施

<平成30年度>

施設のリニューアルオープン・サロン事業開始

<今後の展開>

今後については、サロン事業をはじめ、様々なソフト事業を展開し、子供から高齢者まであらゆる世代が居心地が良いと思える空間「良場所」(居場所)の創出を図っていきます。

〔 連絡先 〕

教育文化振興課 松伏町多世代交流学習館 048(991)2338